

九州がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン  
長崎大学 記念講演会  
平成27年2月17日（火） 18:30  
長崎大学病院 第3講義室（臨床講義棟1階）



開会の辞

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 小路武彦研究科長

研究課題発表

座長 薬物治療学 塚元和弘教授



「在宅・地域医療実習報告」

医療科学専攻・臨床腫瘍学分野 中村太祐先生



「アサン医療センター派遣研修を終えて」

医療科学専攻・呼吸器病態制御学 竹本真之輔先生



「非小細胞肺癌におけるEGFR変異とDPDおよびその関連因子に関する検討」

医療科学専攻・腫瘍外科学 富永哲郎先生



「長崎大学病院における高齢者成人T細胞白血病・リンパ腫の治療成績」

放射線医療科学療科学専攻・分子治療学 牧山純也先生



「肺がんで療養している患者の保健行動の実態に関する研究」

健康推進看護学分野 松尾留美子先生



特別講演

「若手医療者のための「がんチーム医療」」

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 先進治療科学専攻臨床腫瘍学講座 上野真一教授



閉会の辞

臨床腫瘍学 芦澤和人教授



医師、歯科医師、看護師、理学療法士など62名の方にご参加いただきました。大学病院だけでなく、県内の医療機関から参加して下さった方もいらっしゃいました。

上野真一先生の特別講演から、がん医療における多職種のがんチーム医療の重要性を改めて認識しました。多職種の医療スタッフが目的と情報を共有し、互いに連携・補完し合うことが、がん患者さんへの的確できめ細かい医療につながると思います。がんプロでは、多職種連携を深めるための教育、実習などの活動をさらに推進していきたいと思っています。

鹿児島大学よりお越し頂いた上野真一先生、発表してくれたがんプロ大学院生の皆様、ご参加頂いた皆様、ご協力頂いた関係者の皆様に深くお礼申し上げます。

(記 西田暁史)